



## 博士学位論文作成要領

### 1. 体裁

- 1) 日本語、A4版、横書き（ワープロ書き）、印刷は白黒、カラーどちらでも可。  
（掲載された論文のコピーを提出する場合には、体裁をA4版に整えて提出すること）
- 2) 研究指導教員の許可がある場合は、英語も可とする。
- 3) 本文頁は、上下左右とも25mm程度の余白をとり、フッター中央に頁数を入れる（添付資料のファイル形式により頁数を入れられない場合はのぞく）。  
※表紙・目次には頁はふらないこと
- 4) 全体をA4フラット・ファイルで綴じ、下図にならって表紙に必要事項を記載する。題目文字は20ポイント、他は14ポイント程度。

(表紙)

<p>国際医療福祉大学審査学位論文（博士） 大学院○○○○研究科博士課程</p> <p>○○○○○○論文題目○○○○○○○○ (邦題：(英語論文の場合のみ) )</p> <p>20○○年度</p> <p>○○○学専攻・○○○学分野・○○○学領域 氏名：○○○○○</p>
---

※本学大学院博士課程満了者の方へ

- ・学籍番号、研究指導教員名は、記載しないでください。

## 2. 構成

- 1) 論文の構成は以下のとおりとする。
  - ① 表紙
  - ② 400字要旨（英文要旨は、300語以内）  
和文要旨（日本語の論文題目・著者名・要旨、日本語のキーワード）  
英文要旨（英語の論文題目・著者名・要旨、英語のキーワード）  
和文要旨と英文要旨はそれぞれ1枚とする。
  - ③ 目次
  - ④ 本文
  - ⑤ 文献一覧
  - ⑥ 資料
- 2) 和文要旨は、400字以内とする。英文要旨は、300語以内とする。キーワードは、和文要旨と英文要旨の末尾に各々3～5語を記載する。
- 3) 目次は、本文の章・節、謝辞、文献一覧、(資料)をこの順に掲げるものとし、該当ページを表示する。
- 4) 本文の章立ては必ずしも○章、○節とせず、他の形式でもよい（たとえば、I、1、・・・・）。ただし、一般文章作法の範囲にとどめること。
- 5) 図・表は原則として本文の該当する箇所に挿入する。図や表には、別々に通し番号とタイトルを付す。図の番号とタイトルは図の下に、表の番号とタイトルは表の上に付す。資料（例 質問紙一式）は必要に応じて加える。資料を付加する場合は、それぞれに番号とタイトルをつけ、本文中にはその番号をもって引用する。
- 6) 文献は、引用したもののみ記載する。文献引用の方法及び文献一覧の作成については次項参照。
- 7) 全体の長さに制限は設けない。

## 3. 文献引用及び文献一覧について

- 1) 本学学会誌執筆要項「11. 文献」に準ずる。

## 4. その他

- 1) 倫理上の配慮については、別項を設け記載すること（倫理審査を受けているか否か、倫理審査を受けていない場合にはその理由も必ず明記すること）。
- 2) 印刷は、白黒、カラーどちらでも可。

以 上

## 論文製本にあたっての注意事項

1. 論文の製本は、著者が個々に業者に委託することによって行う。
2. 未発表の自著原稿を製本する場合：
  - 1) 表紙は光沢のある深緑色（スクールカラー）のハードカバー、文字は金文字とする。
  - 2) 表表紙、背表紙の様式は下図にしたがう。ただし、題目文字は20ポイント、その他は14ポイント程度。
  - 3) 内表紙以下は、「博士学位論文作成要領」に同じ。
  - 4) 背表紙は、下記の項目（題目、所属、氏名）を記載したものを必ずつけることとする。

(背表紙)	(表表紙)
( 題目 )	国際医療福祉大学審査学位論文（博士） 大学院○○○○研究科博士課程
( ○○○学専攻 ○○○分野 )	○○○○○○○論文題目○○○○○○○○○ (邦題：(英語論文の場合のみ) )
( 氏名 )	20○○年度  ○○○学専攻・○○○学分野・○○○学領域 氏名：○○○○○

### 3. 既発表の論文を製本する場合

掲載論文別刷に上記2と同じ表紙を加える。ただし、ソフトカバー、文字は、金文字以外でもよい。  
※背表紙は、上記の項目（題目、所属、氏名）を記載したものを必ずつけることとする。

### 4. その他

製本費用は自弁。

※本学大学院博士課程満了者の方へ

・学籍番号、研究指導教員名は、記載しないでください。